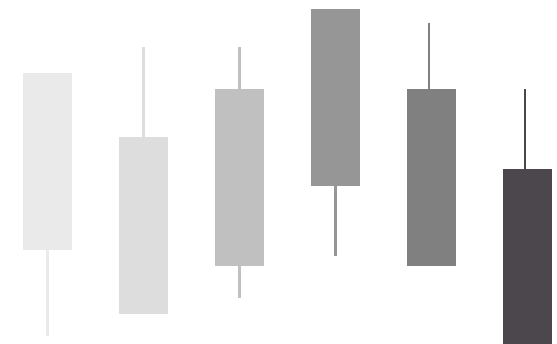


2012年3月期 決算説明会資料



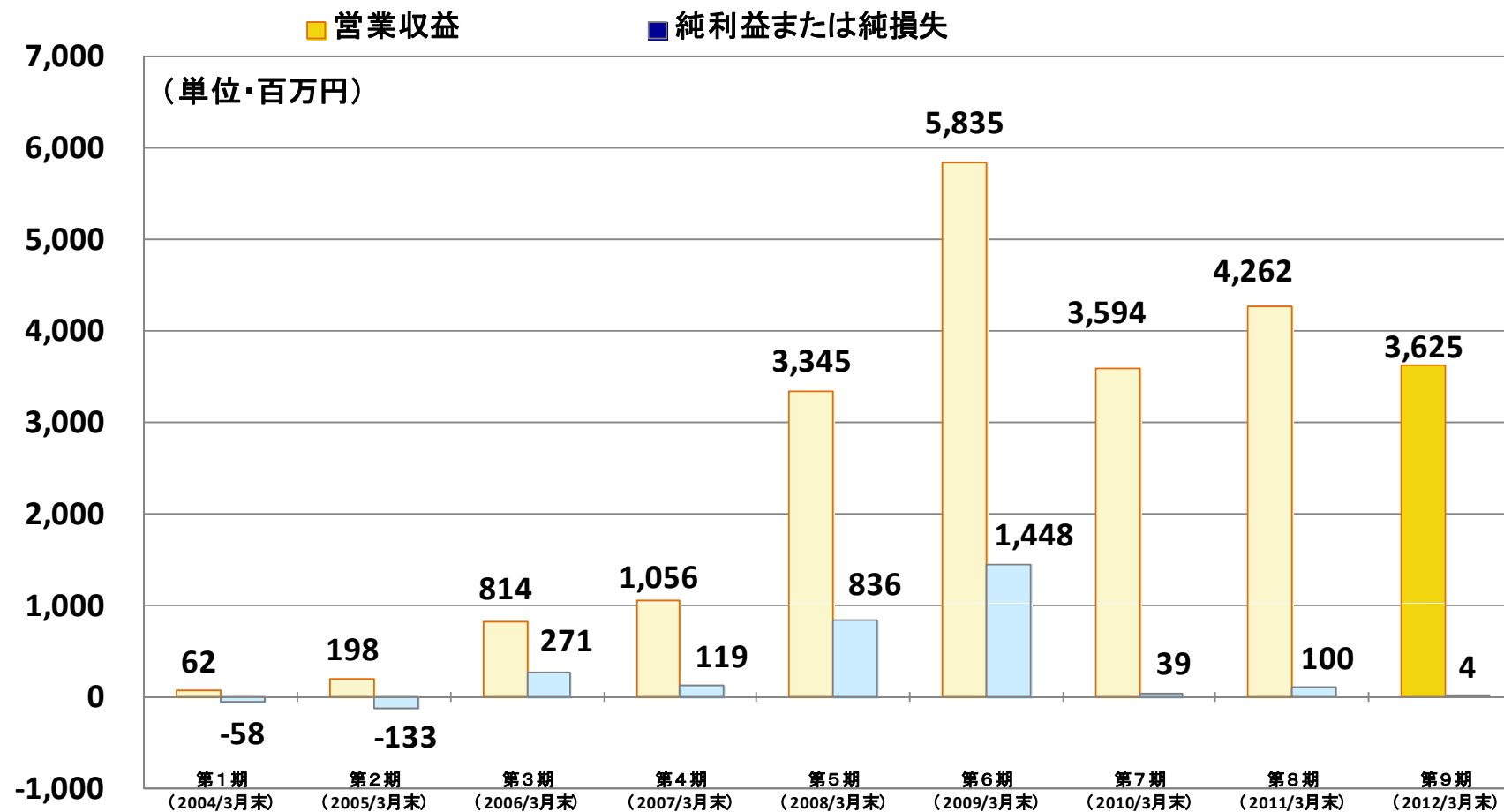
2012年5月29日



未来を育てる、プライムクオリティ ～外貨投資のその先に～

- 2012年3月期決算概要 …… 3ページ
- 当事業年度の成果 ……11ページ
- 保証金規制の影響 ……16ページ
- 当事業年度の課題と取り組み ……18ページ
- FX業界の現状と当社の成長戦略 ……25ページ
- 株主還元について ……35ページ

2012年3月期 決算概要



- 2012年3月期(2011年4月～2012年3月)の当期純利益は、前事業年度比△96百万円の4百万円。
- 取引高は保証金規制完全施行および為替相場の変動が低調であったことなどの影響により、前事業年度比△525億通貨の2,922億通貨。
- 口座数は前事業年度末比+14,913口座の120,998口座。
- 預り保証金は、お客様口座数の増加により、前事業年度末比+1,305百万円の13,815百万円。

■ 2012年3月期 (2011年4月1日～2012年3月31日)

	実績	前事業年度比		実績	前事業年度比
営業収益	3,625百万円	△637百万円 15.0%減	取引高 (ASP含)	2,922億通貨	△525億通貨 15.2%減
経常利益	24百万円	△206百万円 89.4%減	お客様 口座数	120,998口座	+14,913口座 14.1%増
当期純利益	4百万円	△96百万円 95.9%減	預り保証金	13,815百万円	+1,305百万円 10.4%増

- ◆ 保証金規制強化による取引高減少の影響および特に12月から1月の為替相場の動きが極めて低調であったことから取引高が減少し、前事業年度比で減収減益となった。

財務諸表

■貸借対照表 (百万円)

	A	B	C
	2012年3月期	2011年3月期	前事業年度末比
1 流動資産	19,514	18,201	7.2%
2 現金及び預金	4,083	3,842	6.3%
3 顧客区分管理信託	13,450	12,836	4.8%
4 外国為替保証金取引評価勘定	1,162	937	24.0%
5 固定資産	1,190	1,387	△14.2%
6 資産合計	20,704	19,589	5.7%
7 流動負債	15,784	14,485	9.0%
8 外国為替保証金取引預り保証金	13,815	12,510	10.4%
9 固定負債	131	283	△53.5%
10 純資産	4,787	4,820	△0.7%
11 負債・純資産合計	20,704	19,589	5.7%

■損益計算書 (百万円)

	A	B	C
	2012年3月期	2011年3月期	前事業年度比
1 営業収益	3,625	4,262	△15.0%
2 販売費及び一般管理費	3,595	4,035	△10.9%
3 営業利益	29	227	△86.8%
4 経常利益	24	230	△89.4%
5 当期純利益	4	100	△95.9%
6 人件費	590	641	△8.1%
7 システム経費	921	1,038	△11.3%
8 減価償却費	471	415	13.6%
9 広告宣伝費	259	423	△38.6%
10 支払手数料	869	972	△10.6%

POINT①

お客様資産保護の観点から預り保証金等(純資産額)に一定額を上乗せし、みずほ信託銀行で金銭信託にて区分管理を実施。

POINT②

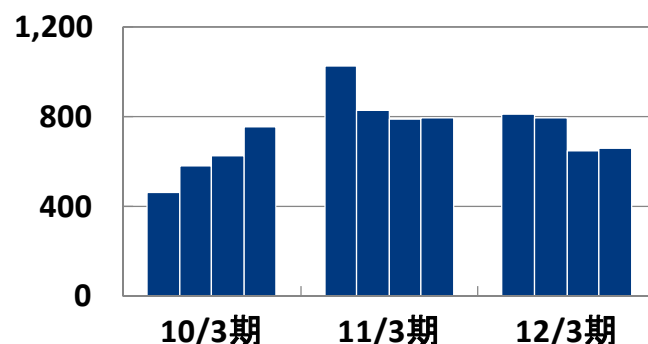
システム経費、広告宣伝費は継続的な経費の見直し効果により削減に成功。

POINT③

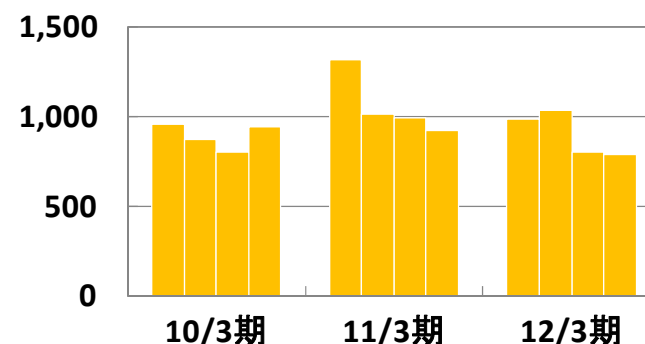
取引高の減少に伴い、支払手数料が減少。

四半期決算推移

取引高 (ASP含) (単位: 億通貨)



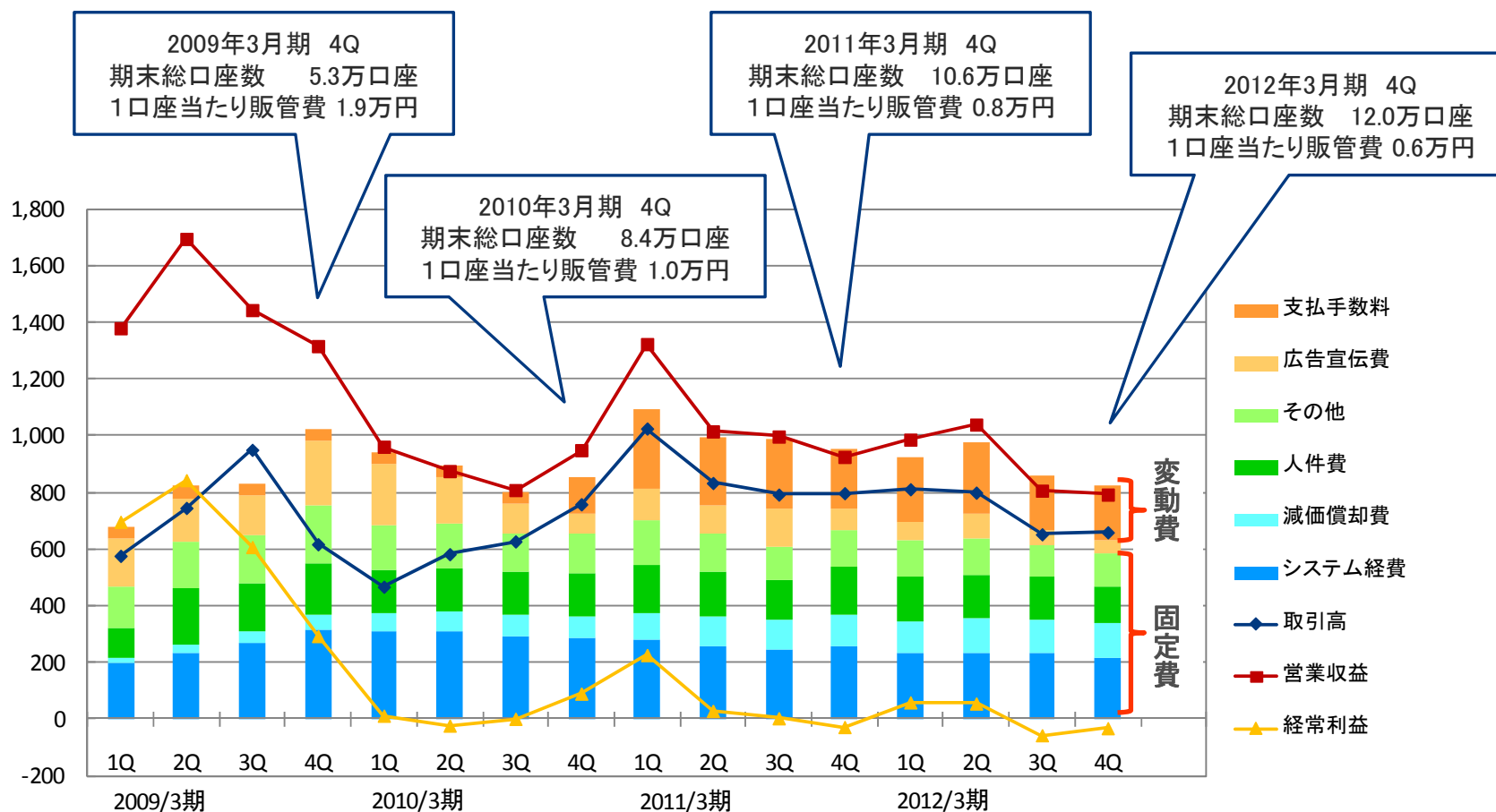
営業収益 (単位: 百万円)



	2010/3期				2011/3期				2012/3期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
1 取引高 (億通貨)	467	582	627	758	1,025	833	792	797	811	799	652	659
2 営業収益 (百万円)	961	875	808	949	1,323	1,015	997	925	986	1,039	806	792
3 人件費 (百万円)	152	153	152	151	174	157	143	167	156	155	150	128
4 システム経費 (百万円)	308	307	294	285	281	254	243	259	232	236	234	218
5 減価償却費 (百万円)	64	71	75	79	90	106	107	111	114	118	116	122
6 広告宣伝費 (百万円)	217	162	105	72	114	100	132	75	68	88	56	46
7 支払手数料 (百万円)	42	42	41	129	277	241	245	208	226	256	194	192
8 経常利益 (百万円)	12	△ 23	1	90	226	29	3	△ 28	59	55	△ 57	△ 32
9 当期純利益 (百万円)	3	△ 14	1	48	114	5	4	△ 24	31	31	△ 37	△ 20

- ◆ 第4四半期は、12月から為替相場の動きが低調であった影響が大きく取引高・営業収益とも直前四半期と同水準となった。

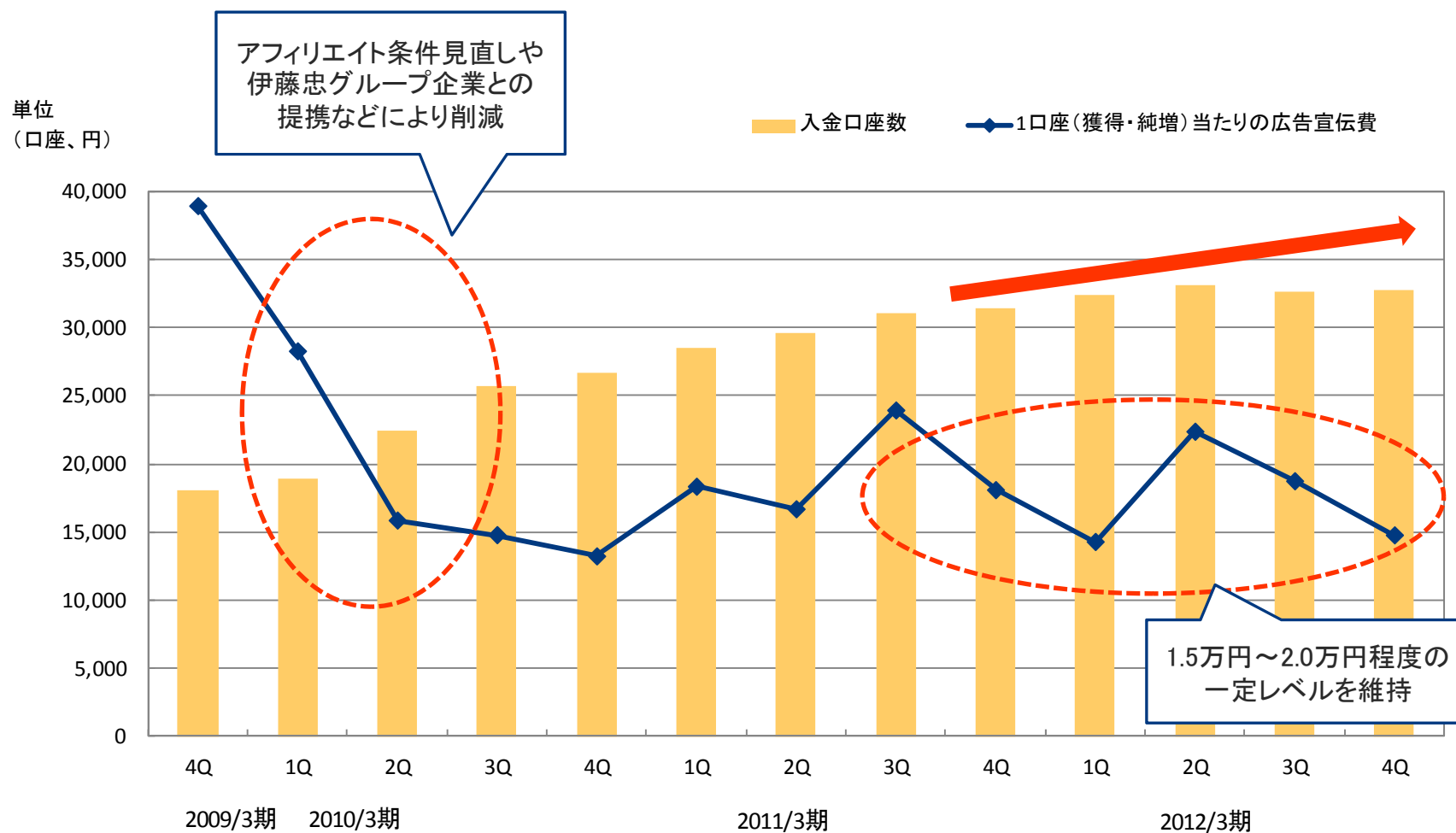
(ご参考)固定費・変動費の推移



カブドットコム証券(ASP先)
FX手数料無料化

● 固定費は、継続的な業務の見直しおよび効率化により、商品・サービス、口座数の増加にもかかわらず四半期600百万円を下回るレベルに抑制

(ご参考) 入金口座数と1口座(獲得)当たりの広告宣伝費の推移

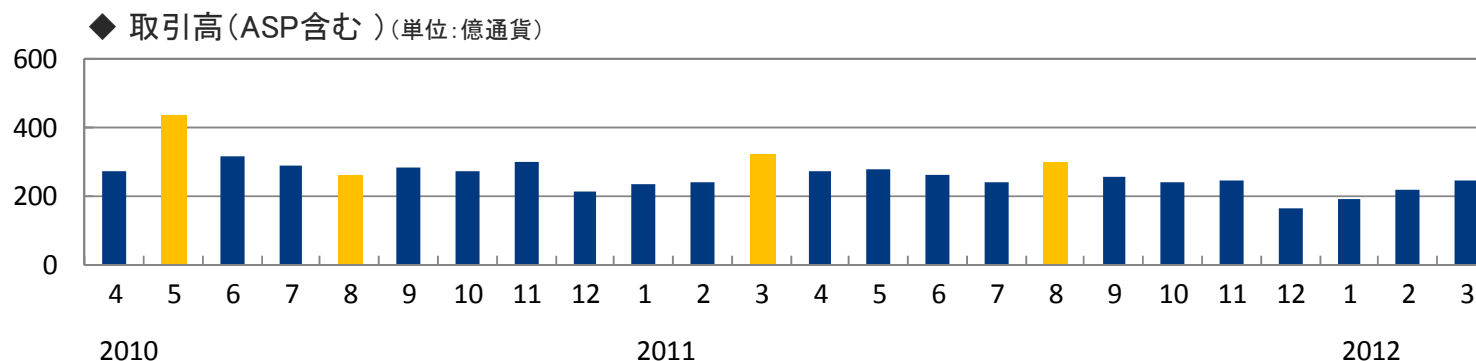
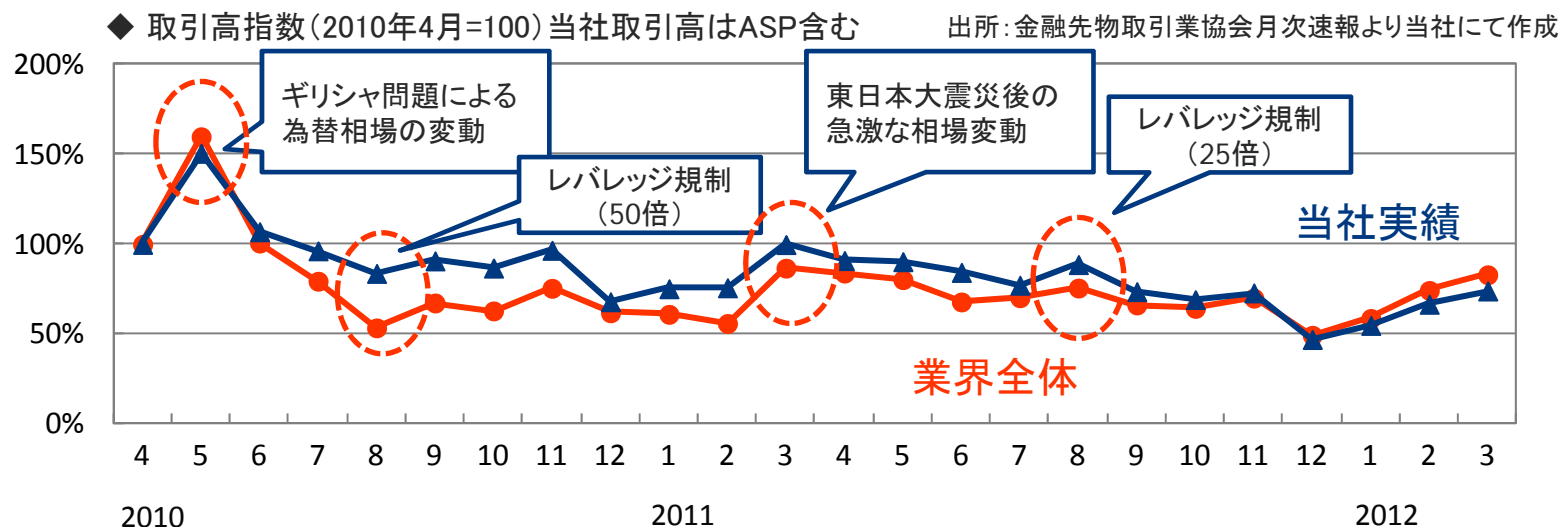


1口座(獲得)当たりの広告宣伝費をコントロールしながら、入金口座は1年間で4.3%増加

当事業年度の成果

取引高推移

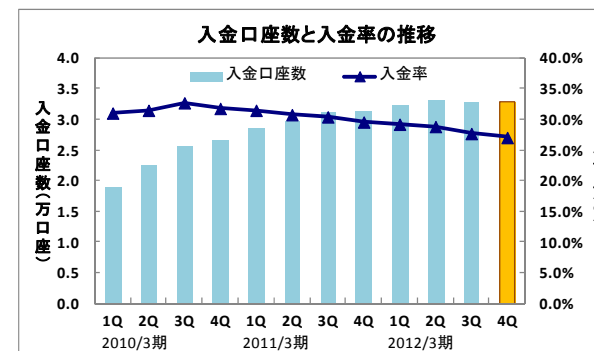
- レバレッジ規制完全施行(25倍)後、業界全体で取引低調。
- 12月から1月の取引高は大幅に減少したものの、2月以降は増加傾向にあり、3月は規制前の水準まで回復。



口座数・預り保証金・取引件数

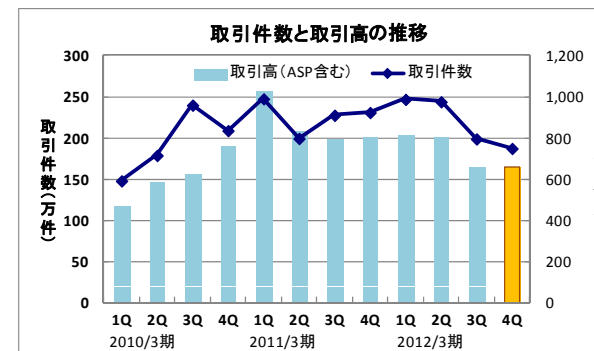
- 口座数は増加傾向であるものの、入金率の低下抑制が課題。

	《2012/3月末》	《2011/3月末》	
総口座数	12.0万口座	10.6万口座	+14.1%
入金口座数	3.2万口座	3.1万口座	+4.3%
入金率	27.0%	29.6%	△2.6%



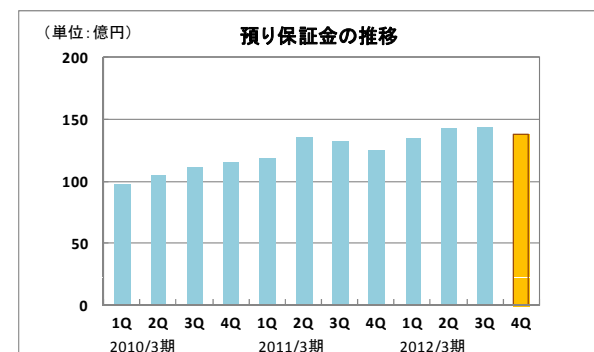
- 取引件数、取引高とも減少。

第3四半期から続いて取引高が低調であったことも影響し、第4四半期も取引件数、取引高が伸びず第3四半期と同水準に留まった。



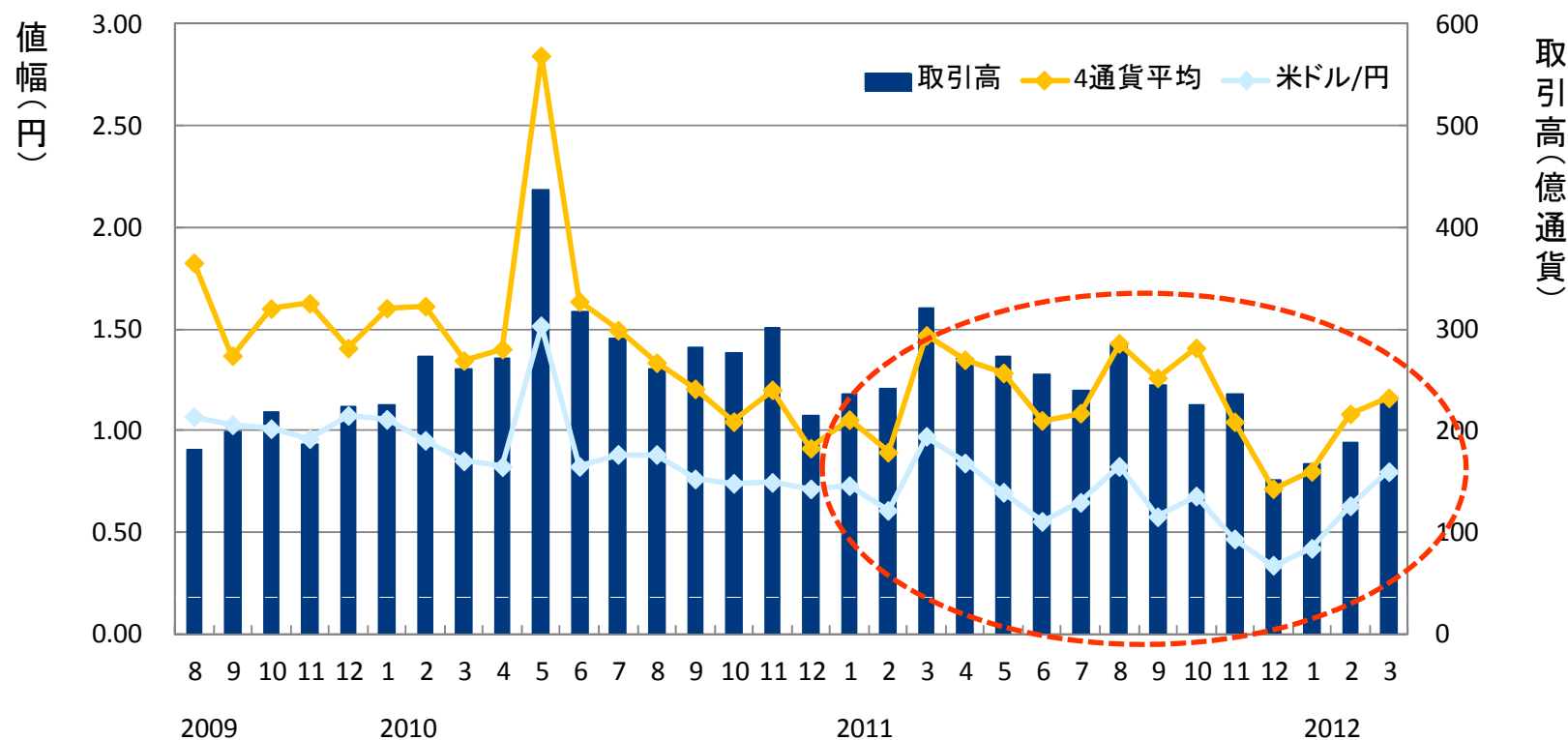
- 預り保証金は138億円。

取引高減少に伴い、預り保証金も若干減少したものの、保証金規制以後の水準は維持。



(ご参考) 主要通貨の値幅と取引高の推移

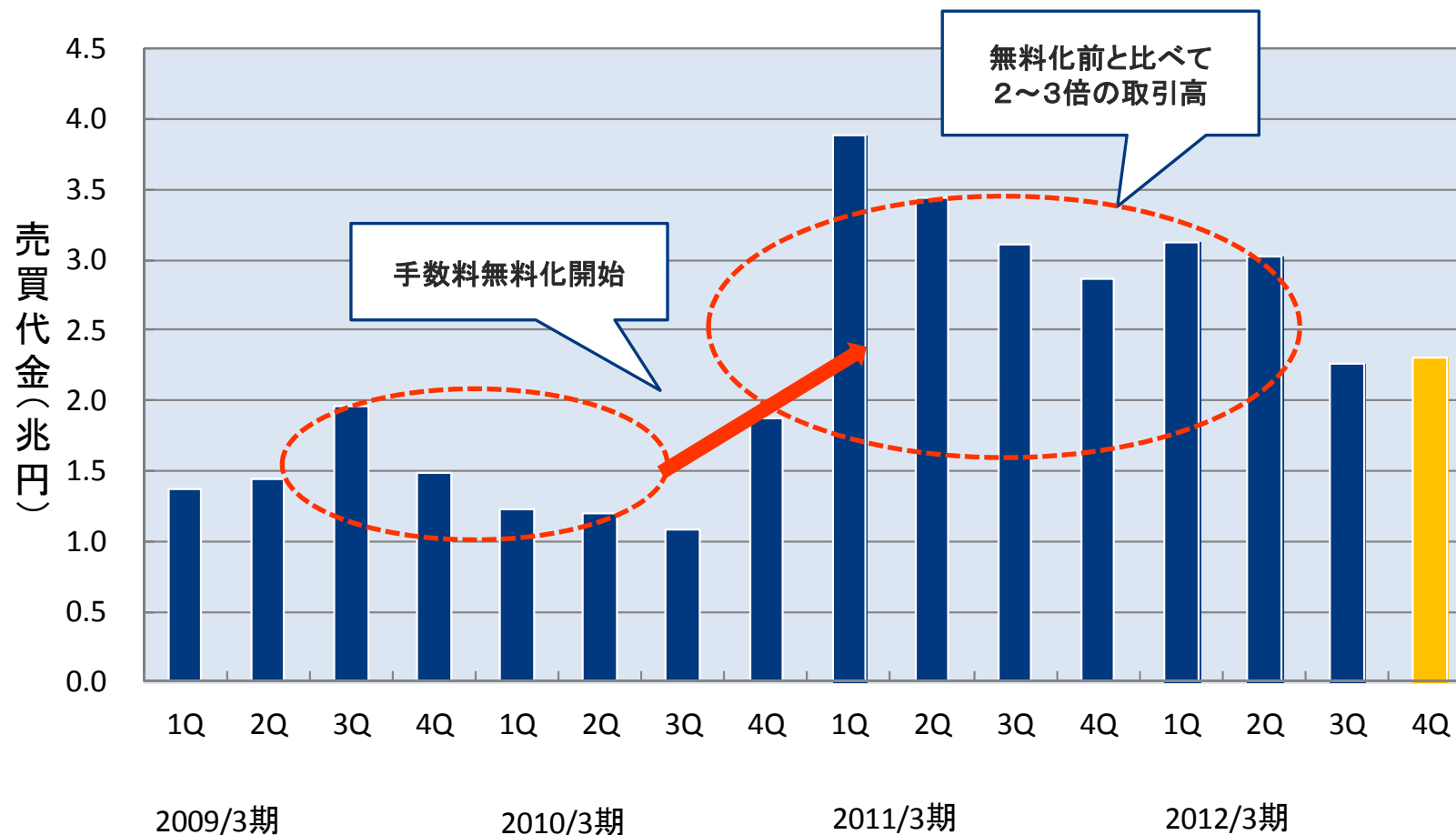
- 値動きの乏しい相場状況でも取引高の水準を維持するため、各種施策を実施。
- お客様基盤の拡大によりボラティリティに依存しない事業体制の強化を目指しているが、12月から1月の取引高減少の影響は補い切れず。



※取引高はASP含む。

※4通貨平均(米ドル/円、ユーロ/円、ポンド/円、豪ドル/円)の、1日ごとの高値と安値の幅を月間平均したもの。

ASP先 FX売買代金推移

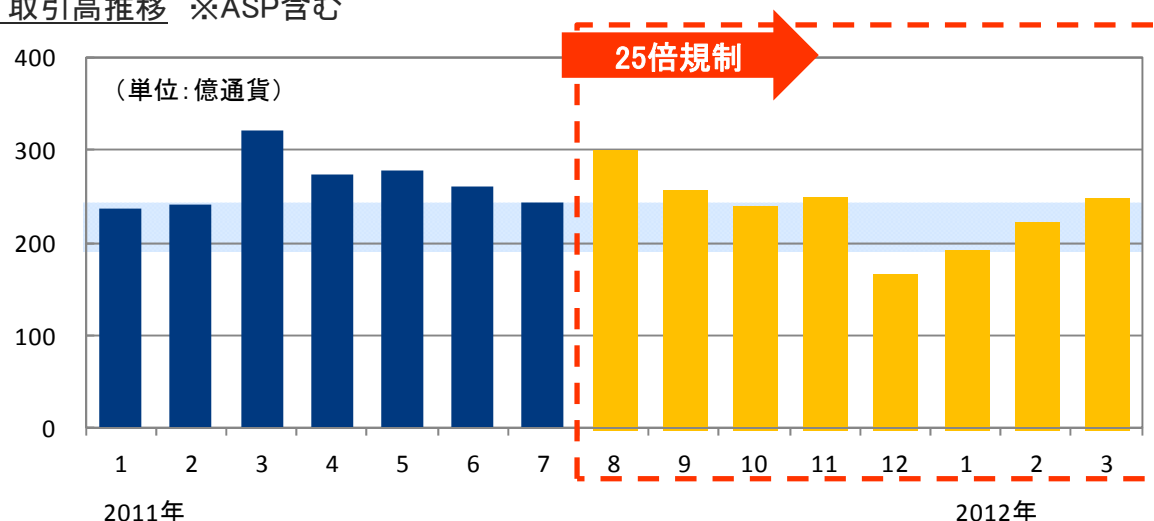


保証金規制の影響

保証金規制の影響

- 12月から1月は取引高が大幅に落ち込んだものの、3月は規制前の7月の水準まで回復。

◆ FXプライム 取引高推移 ※ASP含む



※1件当たり取引高および1入金者当たり取引高について (ASP除く)

	7月	2月 (7月比)	3月 (7月比)
・1件当たり取引高	2.05万通貨	1.75万通貨 (△14.8%)	1.87万通貨 (△8.6%)
・1入金者当たり取引高	44.87万通貨	33.85万通貨 (△24.6%)	39.49万通貨 (△12.0%)
・1入金者当たり取引件数	21.89件	19.38件 (△11.5%)	21.08件 (△3.7%)

◆ FXプライム コース別取引高割合の推移 ※ASP含む

	2011年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1万円コース	25.2%	26.1%	24.4%	23.8%	15.3%	13.8%	13.7%	13.1%	12.6%	14.9%	14.8%	13.3%
2.5万円コース 以上	74.8%	73.9%	75.6%	76.2%	84.7%	86.2%	86.3%	86.9%	87.4%	85.1%	85.2%	86.7%

当事業年度の課題と取り組み

保証金規制等乗り越え
「次の成長ステージ」へ向かうための重要な年

【 総 合 力 】

お客様基盤構築

商品・サービス強化

既存ビジネス強化

経営インフラ整備・強化

総合力を基盤に、“強みづくり”へ

2011年度の課題 “強みづくり”の推進

サービスレベルのさらなる向上に取り組み、当社独自の強みづくり

【従来】

すべてのお客様に同じ
商品・サービスを開発・提供



【今後】

多様なお客様のニーズに合う、
きめ細かな商品・サービスの
開発・提供に取り組む

お客様満足度の向上

=

幅広いお客様に
選ばれるFX企業へ

2011年度の主な取り組み

- 他社サービスとの差別化を図るため、独自の強みづくりを継続
- お客様同士のコミュニケーション機会提供にさらに注力

など、着実に各種施策を実施

お客様基盤 構築

- 「雇用統計NIGHT」の開催（米雇用統計カウントダウンイベント）
- FX体験型セミナーの開催（FX投資女子会、小規模会場セミナー）
- 大規模会場セミナーの実施（地方開催セミナー）
- 法人取引開始

商品・サービス 強化

- 『直トレFX』サービス開始
- 為替レートを小数点以下3桁まで提供
- スプレッド縮小（恒常化）
- 各種キャンペーンの実施
（スプレッド縮小キャンペーン、トレードキャンペーン、口座開設キャンペーン等）
- オンラインセミナーの充実

既存ビジネス 強化

- 「PrimeNavigator」の機能強化（チャート発注機能搭載）
- スマートフォン版アプリ「PRIMEアプリS」サービス提供開始
iPhone版（2月）、Android版（3月）

第4四半期の主な取り組み①

- 為替レートの提供方法を小数点以下2桁から小数点以下3桁へ変更し、スプレッドも縮小(2012年1月23日より)

下3桁化の利点

- お客様の取引機会が数倍に拡大
- スプレッドのさらなる縮小が可能
- カバー収益の改善

	[現在]			[3桁化]	
	BID (売りレート)	OFFER (買いレート)		BID (売りレート)	OFFER (買いレート)
元レート	78.00	78.02	=	78.000	78.020
変動レート	78.01	78.03		78.001	78.021
	78.02	78.04		78.019	78.039
				78.020	78.040
	レート提示回数：最大 2回		<	レート提示回数：最大 20回	

3桁化実施により、同じ2銭の変動でも、取引機会が数倍に拡大



スプレッド縮小キャンペーン 原則固定 16時~21時

ドル/円 0.8銭

ポンド/円・NZドル/円 3.8銭

ユーロ/円・豪ドル/円 1.8銭

さらに追加!

第4四半期の主な取り組み②

- スマートフォンアプリ「PRIMEアプリS」サービス提供開始
（ iPhone版 2012年2月～ / Android版 2012年3月～）
- ハイスピード注文機能の搭載、当社の人気ツール「ぱっと見テクニカル」をアプリへ搭載し他社との差別化を図る

PRIMEアプリS

ワンタップでスピーディな
注文が可能！

『選べる外貨』初の
ドテン注文実装！

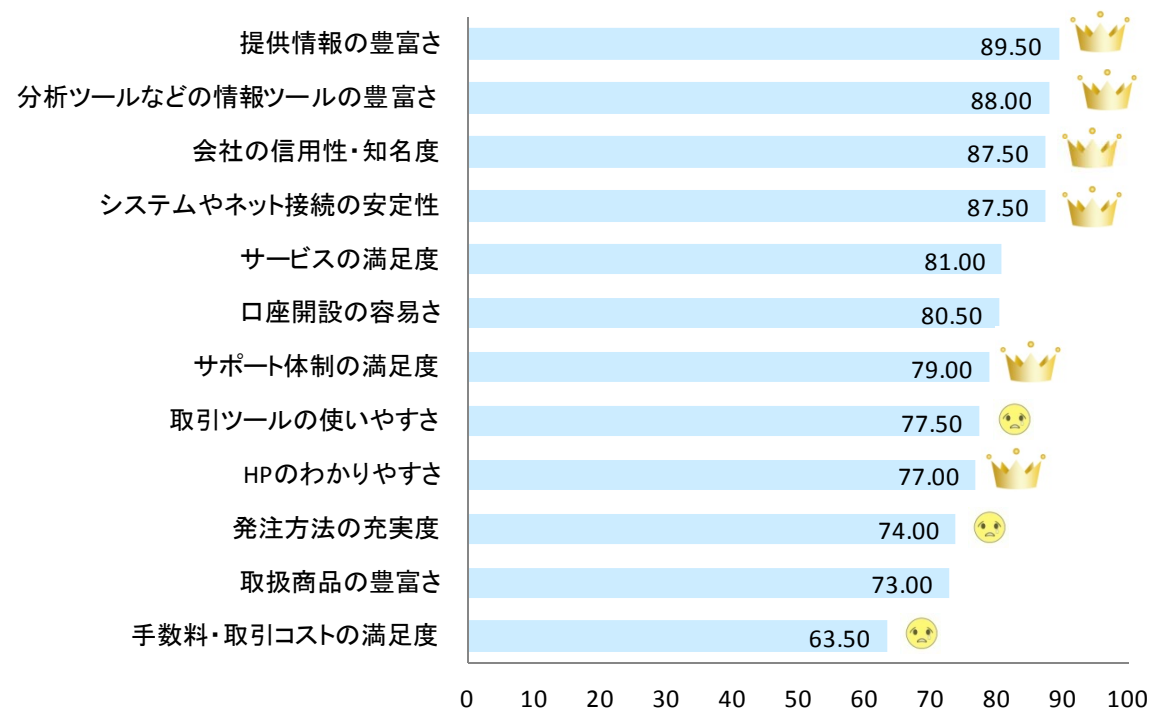


お客様の取引促進および収益獲得機会の増加

当社独自の強みづくり

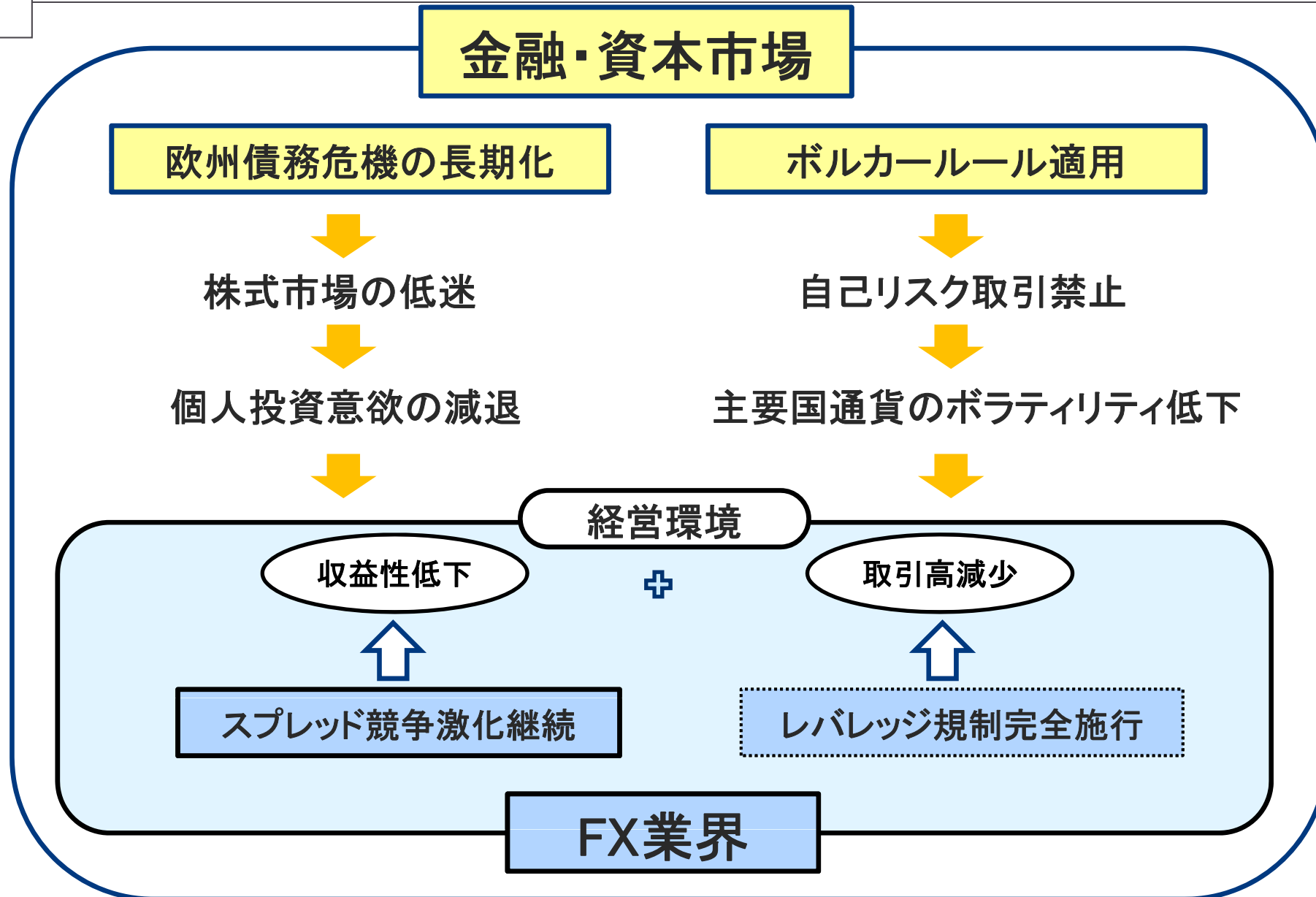
(ご参考)顧客満足度ランキングについて

- オリコンDD株式会社にて実施された「2012年度版オリコン顧客満足度の高いFX取引ベスト15」において、総合3位にランクイン
- 調査対象の全12部門中、半数となる6部門で1位を獲得



- ◆ 情報関連、会社の信用度、システム安定性などの満足度が1位 (👑)
- ◆ 取引コスト、取引ツールなどの満足度が低い (😞)

FX業界の現状と 当社の成長戦略



I. 方針

厳しい経営環境の中、「独自の強み」を活かしながら、
「外部環境に左右されない強固な事業体制」を築く

-
- ✓“事業構造の再構築による収益力強化”を最優先して実行
 - ✓“市場リスクマネジメント”の最適化にも着手

II. 課題

- | | | |
|-----------|---|----------------|
| ①顧客基盤拡充 | ← | 「独自の強み」を活かす |
| ②収益率向上 | ⇒ | 競争力の高いスプレッドの提示 |
| ③経費構造の見直し | ⇒ | 安定的黒字体制の早期実現 |
| ④低ボラティリティ | ⇒ | 新規商品の検討 |

お客様のニーズ、要望に合わせた お客様満足度の高いサービスの提供

商品・サービスの 提供・開発

- ・主力商品「選べる外貨」に経営資源を集中
- ・既存サービスの見直しを実施
- ・お客様ニーズに合致した新商品の導入

投資情報・ツール提供

- ・「チャートのささやき」
- ・「ぱっと見テクニカル」
搭載のiPad

セミナーの開催

- ・会場型セミナー（雇用統計NIGHTなど）は継続的に開催
- ・富裕層向けなど、お客様ニーズに合わせた特色あるセミナー

お客様満足度の向上と新規顧客の獲得

カバー取引の収益率向上

マルチプラットフォーム
などの活用



仕入れレートの改善



カバー取引の
一部システム化
(アルゴリズム活用等)

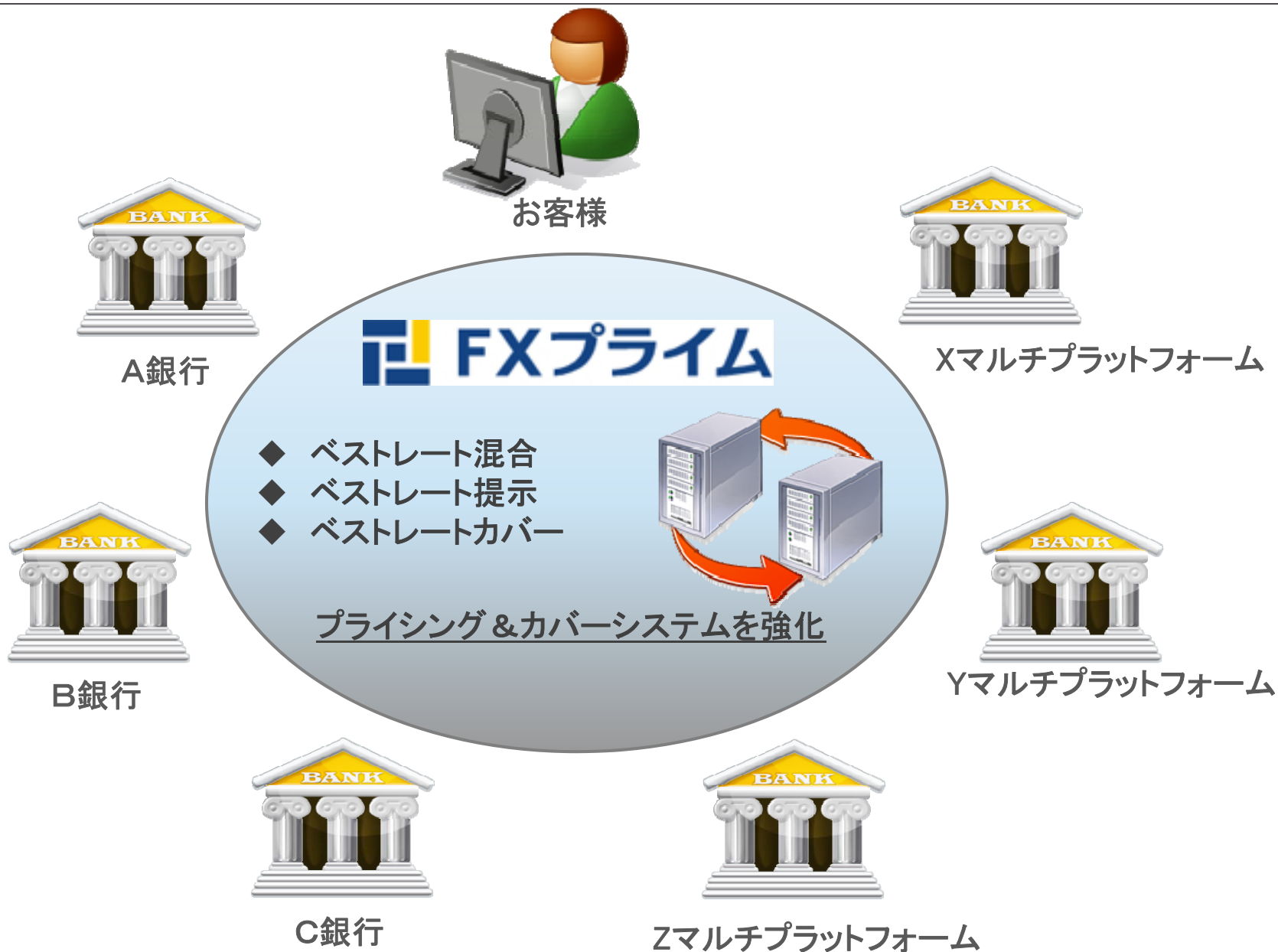


カバー取引効率化

市場リスクマネジメントの最適化

競争力の高いスプレッドの提示が可能となる

収益率向上のための施策

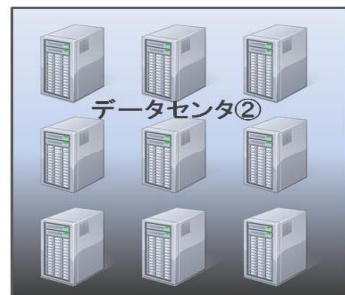
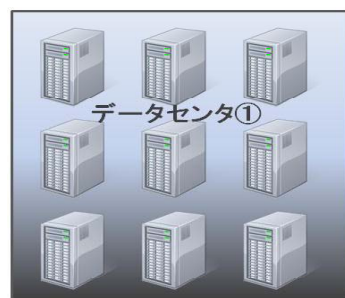


情報システム経費の大幅削減

最適化、効率化
を推進



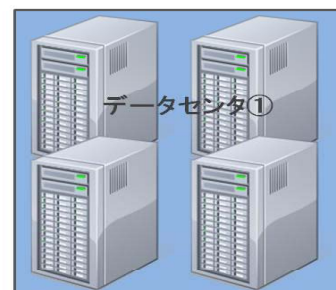
データセンターの
集約化
(12年度下期目処)



システム関連
経費大幅削減



システム仮想化
システム統合化
システム最適化
↓
システム集約化



取引システムの安定性は十二分に確保

バイナリーオプション

「選べるHIGH・LOW」の商品性見直し



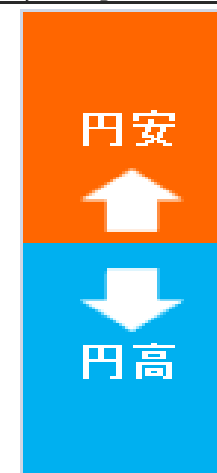
シンプル&チャレンジ回数UP

選べるHIGH・LOW

円安 ↑	+3.0円	
	+2.5円	
	+2.0円	
	+1.5円	
	+1.0円	
	+0.5円	
±0.5円	±0.5円	
円高 ↓	-0.5円	
	-1.0円	
	-1.5円	
	-2.0円	
	-2.5円	
	-3.0円	

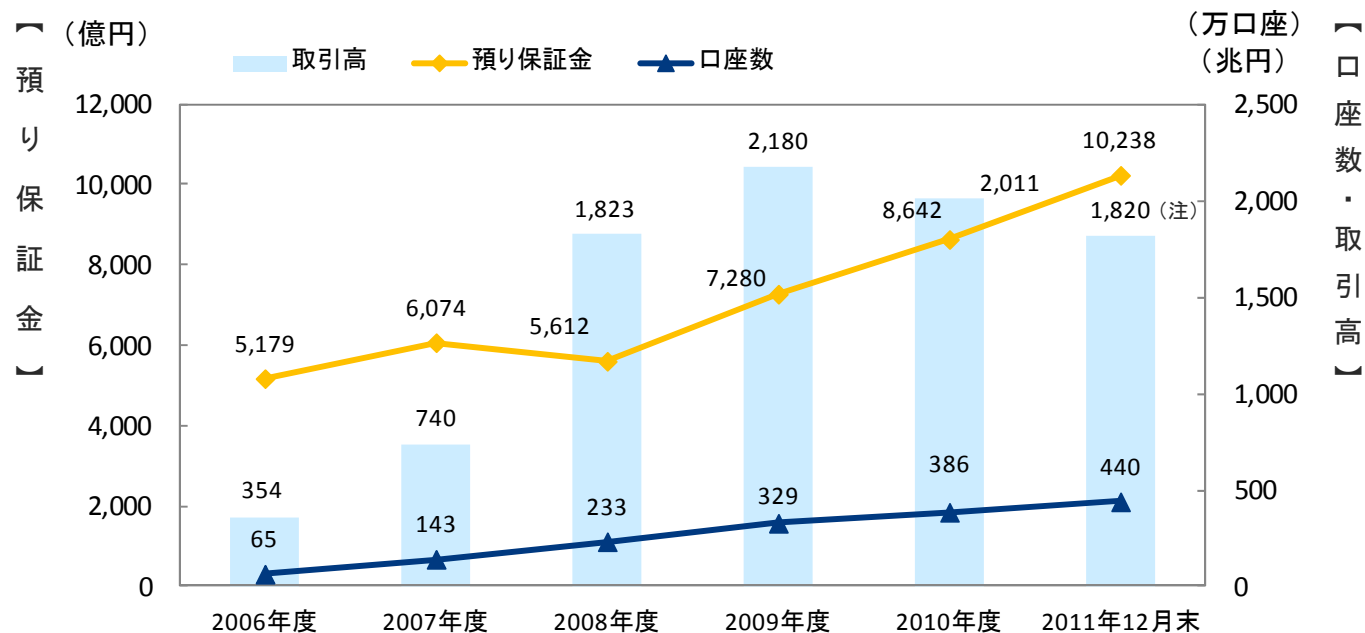
- ✓円安・円高の全13種類
- ✓週1回だけ参加

バイナリーオプション(案)



- ✓円安か円高の二択
- ✓一日に100回以上参加可能

(ご参考)FX業界の成長性



(注)取引高は当社にて2011年度年額を推定

インターネット取引
(証券)
1,647万口座

外貨預金口座
873万口座

ネット証券(5社)
605万口座

FX
386万口座

【2011年3月末】

- ✓ レバレッジ規制完全施行(25倍)の影響は約10%減でほぼ出尽くしたと認識
- ✓ 口座数、預り保証金は順調に増加

**FX業界は短期的には厳しい経営環境が続くが、
中期的には依然、成長が期待できる分野**

出所:金融先物取引業協会、日本証券業協会、カブドットコム証券株式会社、株式会社SBI証券、マネックス証券株式会社、楽天証券株式会社、松井証券株式会社の各ホームページ公表資料より

FXプライムは、業界のリーディングカンパニーへ！

ステークホルダー満足度の総和を最大化

I. 投資家満足度を最大化

- ① 外部環境の変化を克服し、サステイナブルな強い事業体制の構築
- ② 資本市場の声を重視する経営



II. お客様満足度を最大化

- ① お客様のニーズに応える商品・サービスの開発・提供
- ② お客様に「勝っていただく」ための有益な投資情報・投資ツールを提供

株主還元について

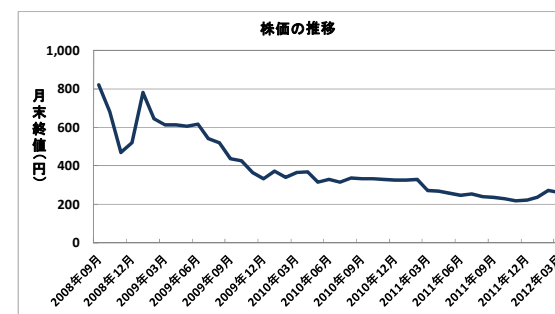
■ 利益配分に関する基本方針

当社は、株主還元を重視し、配当原資確保のための収益力の強化に努め、継続的かつ安定的な配当を行うことを基本方針として配当性向30%を目指します。

	2009/3期		2010/3期		2011/3期		2012/3期	
	中間	期末	中間	期末	中間	期末	中間	期末
1株当たり配当金	-	25.0円	-	4.0円	3.0円	2.0円	2.5円	-

■ 株式の状況 (2012年3月末現在)

発行可能株式総数	25.0 百万株
発行済株式総数 (普通株式)	8.3 百万株
自己株式数	0.2 百万株
株主数 (普通株式)	5,774 名



■ 株主優待制度

- 優待制度 (1) 年1回、毎年3月31日現在の当社株主名簿に記載または記録された、1単元(100株)以上の株式を保有する株主様を対象に、QUOカードを贈呈します。
- 優待制度 (2) 基準日現在の当社株主名簿に記載または記録された、1単元(100株)以上の株式を保有する株主様で、当社に代表口座(外国為替取引口座)を開設され、かつ当社で外国為替保証金取引をされた方を対象に、『選べる外貨』の毎月の取引高に0.1銭を乗じた金額をキャッシュバックいたします。
(基準日: 毎年3月31日および9月30日)

ご清聴ありがとうございました。

本日はご多忙の中、当社説明会にご出席くださりまして、誠にありがとうございました。株主・投資家の皆さまにおかれましては、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

本資料は、当社をご理解いただくために作成したもので、当社への投資勧誘を目的としたものではありません。

正確性を期すために本資料は慎重に作成していますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた損害については、当社は一切責任を負いませんので、予めご承知おきください。

本資料に関するお問い合わせ

http://www.fxprime.com/ir_info/

FXプライム株式会社 経営管理部

TEL : 03-5469-7565(代)

E-mail : fxp-ir@fxprime.com